



平成17年 5月12日
日本原子力発電株式会社

平成17年度東海発電所、東海第二発電所の事業計画概要について

当社、東海発電所、東海第二発電所の平成17年度の事業計画概要について、別紙の通りお知らせ致します。

(別 紙)

平成17年度東海発電所、東海第二発電所の事業計画概要

以 上

平成 17 年度東海発電所、東海第二発電所の事業計画概要

1. 運転計画

平成 17 年度の東海第二発電所の運転計画を下表に示します。

	東 海 第 二 発 電 所	
運転計画	発電電力量	約 69.9 億キロワット時
	最大電力	110 万キロワット*1
	設備利用率	約 73%
定期検査 (第 21 回)	期 間	平成 17 年 4 月 23 日から 約 4 ヶ月

*1：定格熱出力一定運転により若干の増加あり。

2. 主な工事等

(1) 東海発電所

- ・ 廃止措置 (添付資料－1 参照)

平成 17 年度は、原子炉領域の安全貯蔵及び燃料取扱建屋領域設備・燃料取替機等の撤去工事を継続すると共に、熱交換器を解体する第二期工事（平成 18 年度～22 年度）の準備を進めます。

なお、放射性物質濃度の極めて低い廃棄物（レベル 3 廃棄物）を対象とした敷地内での埋設の適用性を確認するため、地質及び地下水流動状況を詳細に把握する本格調査を行う予定です。

(2) 東海第二発電所

- ・ 使用済燃料貯蔵設備の増強工事

乾式貯蔵容器による使用済燃料貯蔵設備の増強工事については、第二期工事として、貯蔵容器 24 基中 15 基の製造を完了し、順次使用済燃料の貯蔵を行っております。

平成 17 年度は、残り 9 基中 6 基の貯蔵容器製造に向けた準備を進めます。

(3) 東海発電所、東海第二発電所

- ・ 放射性固体廃棄物処理設備の設置工事 (添付資料－2 参照)

放射性固体廃棄物埋設処分の推進に向けた雑固体減容処理設備及びセメント混練固化装置の設置工事を平成 15 年 11 月に着手しました。雑固体減容処

理設備については本年度末に完成する予定であり、平成16年度末に完成したセメント混練固化装置については本年度からの運用開始を予定しています。

3. 燃料等輸送計画

本年度、東海第二発電所の新燃料、使用済燃料及び低レベル放射性固体廃棄物を輸送する計画はありません。

4. 添付資料

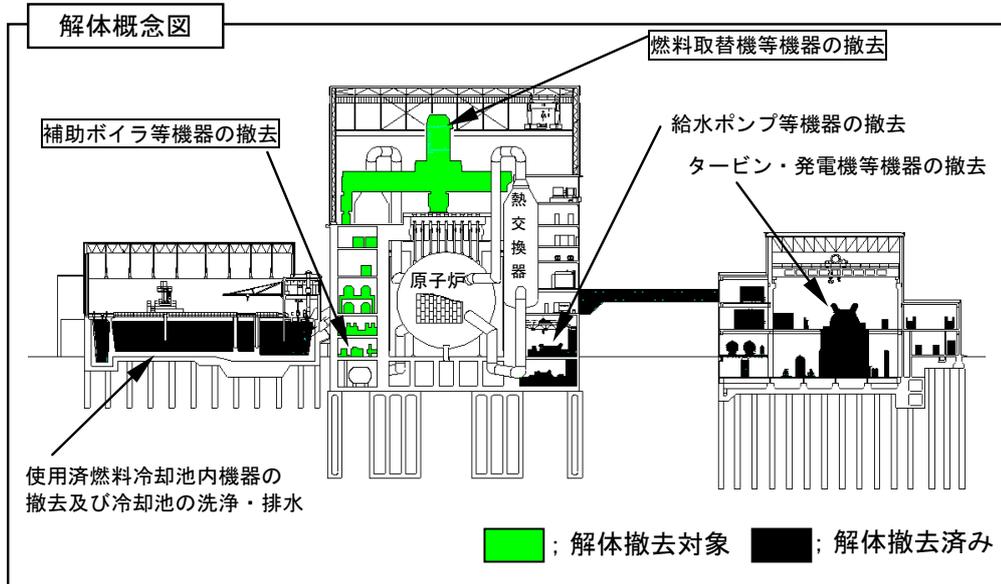
- (1) 東海発電所廃止措置
- (2) 放射性固体廃棄物処理設備の設置工事

以 上

添付資料－1：東海発電所廃止措置

第一期工事工程表

項目	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	上期	下期								
原子炉領域		■								
安全貯蔵措置										
安全貯蔵		■	■	■	■	■	■	■	■	■
使用済燃料冷却池 洗浄・排水 【冷却池内機器の撤去 及び冷却池の洗浄・排水】		■	■	■	■	■				
準備工事 (電源設備改造工事等)		■	■	■	■	■				
原子炉領域以外										
タービン建屋領域 設備撤去工事 【タービン・発電機等機器 の撤去】					■	■	■	■		
原子炉サービス建屋 領域設備撤去工事 【給水ポンプ等機器の撤去】							■	■		
燃料取扱建屋領域 設備撤去工事 【補助ボイラ等機器の撤去】								■	■	
燃料取替機等 撤去工事 【燃料取替機等機器の撤去】								■	■	



レベル3廃棄物の埋設に関する調査

項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
調査	予備調査	本格調査		



注) 調査観測孔の位置及び本数は詳細検討を行い決定する。

添付資料－2：放射性固体廃棄物処理設備の設置工事

